

## 2021年度 建国小学校 学校関係者評価

建国小学校 学校関係者評価委員会

委員長 金真理

日 時：2022年3月5日（土） 13時半～15時 本校 図工室

参加者：6名…教頭 黄裕錫先生 教務主任 李福子先生 PTA会長 金真理（小6）

副会長 徐瑛基（小2） 保護者 李奈奈（小6） 金莉那（小3）

教務主任の李福子先生に「学校評価アンケート 自己評価」を説明して頂きながら、アンケート結果と照らし合わせ、「学校関係者評価」を行いました。

### 1. 民族的なもの

民族教育に関して、9割以上の児童が、建国での学びが自分のためになっていると評価しました。韓国語の学習では1.2年のクラス編成が4年目を迎えました。建国独自の教材とICTを活用した体系的な学習が成果を上げていていると読み取れます。また、アプリ学習、単語級数試験、校内イヤギ大会、絵日記大会に加え、今年度は韓国の学校とオンライン授業も実施しました。同学年との交流は新鮮で、韓国語を使う楽しさを体現できる良い機会となりました。また、5.6年の韓国語能力試験の合格率も92%（そのうち5級以上合格は20名）と学習の励みとなる良い結果でした。保護者アンケートでも9割強の方が学校の特色・取り組みを非常に高く評価していました。

### 2. 英語

他の項目と比較すると、児童の英語学習の評価が74%と少し低い結果でした。しかしこれは、今年度より、英語の到達目標を引き上げ、英検対策や文法学習のカリキュラム編成をしていただいた結果と考えられます。昨秋、高学年に導入したアプリ学習Class Cardを、今年度は3年生から取り

入れました。英単語を読む（音声）、訳語、マッチングゲームなど、それぞれに目標値を設定し、宿題にも出してもらっています。英単語のテスト機能（自己採点）やスペリング（書き）は、難しく時間もかかるので、そのことに学習量が増えたと負担感を感じている児童がいることが考えられるようです。Class Card を有効活用するため、慣れるまで学校でもサポートしていただきながら、家庭でもアプリ学習の発展に協力したいと思います。

また高学年では英検の受検学年を昨年度の 6 年生 5 級から、今年度は 5 年生で 5 級に移行しました。結果、5 年生 5 級の合格率は 87.5%、6 年生で 4 級を受験した児童 5 名の合格率は 100%でした。（すでに 3 級以上合格児童を除く。）

ただ、可否結果が 2 月のため、アンケートを実施した 1 月時点では、個人の学習成果を実感として反映しにくかったかもしれません。

さらに 12 月のレシテーションコンテストに加え、毎月第 2 火曜日に English Day を設けたようです。児童と教員が朝の会や終わりの会などで、簡単な日常会話を英語で話し、積極的に使う機会を増やす努力をしていただきました。

### 3. 学習面

9 割近くの児童が授業は分かりやすいと感じ、宿題も自分の力でする習慣がついているようです。保護者アンケートでは、どの項目も 9 割以上の評価を得ましたが、昨年同様、児童の設問 4「授業で自分の考えを伝え、意見を発表する」の評価が 8 割に届かず 77%でした。ペアやグループで伝え合い、協働し考えを深める授業は増えてるようです。しかし今年度も、意見発表や実験、観察、交流は感染予防に則った形で行っていただきました。対面距離の確保、マスク着用の中、声や表情で正確に内容を伝えることの難しさがありました。話す以外の伝え方を工夫し、学習を進めてもらいましたが「発表する」場面での制約と難しさが児童の実感として評価に表れたと考えられます。今後も児童一人ひとりが自信をもち「発信する力」を身につけるための研究を継続していただきたいです。

また、今年度は、筑波大学の協力のもと、平仮名、カタカナ、漢字の習得度の調査と分析を行い、個別結果をもとに補習を行なってもらいました。低学年や日本語が母語でない児童にとっ

での基礎学習を今後も進めていただきたいと思います。

デジタル教科書や電子黒板、iPad は授業ツールとして日常的に活用できているようです。ICT 教育を進める上で、今後は小学校でも 1 人 1 台の個人端末購入を検討しているようです。

学力や語学力の向上についても、保護者からの評価は 9 割以上と高くなっていました。授業以外の補習や学習支援などを行なっている成果が出ていると考えられます。今後もこれらの学習を継続していただきたいと思います。

#### 4. 人権的なもの

道徳で「いのち」「人権」「福祉」に関する授業を行ってもらいました。人権学習は、外部とはオンライン交流を主に、内容を工夫し例年に準じた学習をしていただきました。2, 3, 4 年生への「いのちの教育」は、子ども達が命の尊さや他者との関わり方、身体の成長、自己の内面について学ぶ特別授業です。外部講師の専門的で生きた授業は、子どもにとっても貴重な学習体験となりました。今後は、全学年で特別授業が実施できるよう、研究していただきます。また、児童を取り巻く情報や SNS 情報モラル教育についても研究し、系統的に学習する体制を整えていただきます。保護者アンケートでも、学校と保護者との連携に関して 9 割以上の高評価でした。今後も、子どもの人権、学校生活の相談やトラブルに関しては、保護者、教員、スクールカウンセラーとの連携を状況に応じて進めていただきたいと思います。

#### 5. 学校生活

9 割の児童が、学校は楽しく、友達と仲良くきまりを守って、充実した学校生活が送れているようです。この一年も子どもたちは、基本的な感染予防対策をよく守って行動していました。学校生活での相談やトラブルも子どもと教員、家庭が協力して対応できていると読み取れます。これは、保護者アンケートでも学校のきまりや活動、安全教育、学習環境、相談対応などすべての項目で 9 割以上の高評価でした。

今年度は、運動会や学芸発表会、授業参観など限られた行事のみでしたが、保護者の方も参加していただき、子どもたちの学習意欲のやる気アップと笑顔につながったようです。

手洗い、消毒、マスクの着用も当たり前のルールとして子どもたちは継続して守ってくれてい

るようです。先生方も、消毒作業やコロナでの対応と負担も多かったと思いますが、先生方の指導のおかげであると感じ、とても感謝しています。

## **6. 総括**

全体的にかなりの高評価となりました。特に保護者からの評価は、ほとんどの設問で良い評価が9割を超えていました。そんな中で授業では自分の考えを伝えたり意見を発表したりという点で8割に届かず、今後はプレゼンテーションを実践する場を増やして欲しいと希望します。コロナで休校中であっても学習アプリを使うことで学びが続けられたことは、たいへん安心できました。また、学校再開後にはコロナ感染対策をしながら工夫を凝らし、安全に学習活動を続けていただいたことに対して、先生方にたいへん感謝しております。

来年度も同様の状況は続くと思いますが、この一年を通しての気づきや発想を有効に活用し、児童らがより良い学校生活を送れるよう取り組んでいただきたいと思います。